

平成21年8月期 第1四半期決算短信

平成21年1月14日

上場会社名 三光ソフランホールディングス株式会社

上場取引所 大

コード番号 1729 URL <http://www.sanko-soflan-hd.com/>

代表者 (役職名) 社長 (氏名) 高橋 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 有保 誠

TEL 048-669-1300

四半期報告書提出予定日 平成21年1月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第1四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	6,150	—	127	—	96	—	△335	—
20年8月期第1四半期	6,351	32.2	315	59.1	273	22.8	167	38.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	△5.65	—
20年8月期第1四半期	2.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第1四半期	19,660	3,074	13.4	44.42
20年8月期	21,279	3,560	14.8	52.91

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 2,636百万円 20年8月期 3,141百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	—	—	2.50	2.50
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有
現時点での期末配当の予想については未定であります。

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,000	11.5	350	△15.1	200	—	△80	△78.9	△1.35
通期	26,800	11.5	750	△21.4	650	△0.4	70	—	1.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年8月期第1四半期 61,949,600株 20年8月期 61,949,600株

② 期末自己株式数 21年8月期第1四半期 2,587,948株 20年8月期 2,587,948株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年8月期第1四半期 59,361,652株 20年8月期第1四半期 60,906,015株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成20年10月14日に公表いたしました連結業績予想は、当第1四半期連結会計期間において修正しております。詳細につきましては、本日付「特別損失の発生及び業績予想の修正並びに役員報酬の減額等に関するお知らせ」をご覧ください。

2.平成20年10月14日に公表いたしました平成21年8月期の配当予想は、当第1四半期連結会計期間において修正しております。期末配当につきましては、現時点では未定とし、実施の可否及び配当金額につきましては今後の状況を見極め、改めて公表したいと存じます。なお、詳細につきましては、本日付「平成21年8月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の急減速を背景にして、企業収益及び個人消費の悪化が進行しており、景気の先行き不透明感が強まりました。

このような経営環境下、当社グループは、グループ会社間の連携強化、コストダウンの徹底等に取り組んでまいりましたが、建設事業及び不動産販売事業を中心として、市場環境悪化による影響を受けました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における当社グループの売上高は61億50百万円となりました。利益面では、コスト削減による収益性の改善に注力したものの、原油価格高騰による建築資材価格上昇等によるコストアップ要因等もあり、経常利益は96百万円となりました。また、不動産市況及び株式市況等の低迷を背景に、販売用不動産評価損1億83百万円、投資有価証券評価損2億39百万円を特別損失として計上した結果、四半期純損失は3億35百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

①建設事業

当第1四半期連結会計期間における建設事業は、景況感の急速な悪化に伴う不動産市場の先行き不透明感の影響を受け、売上高は3億96百万円となり、加えて建築資材価格の高騰等による影響もあり、営業利益は24百万円となりました。

②不動産販売事業

当第1四半期連結会計期間における不動産販売事業は、書籍「お金持ち大家さんへの道」を軸としたマーケティングを進め、収益用不動産の販売に注力してまいりましたが、建設事業と同様に景況感の悪化に伴う不動産市況の低迷の影響を受け、売上高は8億6百万円となり、営業利益段階では11百万円の損失となりました。

③賃貸管理事業

当第1四半期連結会計期間における賃貸管理事業は、店舗数の拡大（前年同期比4店舗増加の27店舗）に加えて、前連結会計年度7月に株式会社ハウジング恒産を買収した事等により売上高は28億77百万円、営業利益は1億39百万円となりました。

④介護事業

当第1四半期連結会計期間における介護事業は、認知症高齢者向け介護施設「グループホーム」の棟数拡大（前年同期比15棟増加の104棟）による寄与等があり、売上高は23億92百万円、営業利益は1億2百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間における流動資産の残高は、129億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億62百万円減少しました。これは主に現預金の減少によるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間における固定資産の残高は、67億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加しました。これは主に投資有価証券の評価減による減少が3億73百万円あったものの、販売用不動産から固定資産への転用による建物・構築物及び土地の振替等があったことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間における流動負債の残高は、116億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億22百万円減少しました。これは主に短期借入金の減少及び源泉所得税の預り金減少によるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間における固定負債の残高は、49億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億89百万円増加しました。これは主に社債及び長期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産の残高は、30億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億85百万円減少しました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

【キャッシュ・フローの状況】

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、21億72百万円と前連結会計年度に比べ13億69百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動の結果減少した資金は、6億68百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加による資金の減少2億97百万円、売上債権の増加による資金の減少1億64百万円及び法人税等の支払1億95百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動の結果増加した資金は、4百万円となりました。これは主に定期預金・積金の預入れによる資金の預入と払戻しによる純減額68百万円及び敷金保証金の差入と払戻しによる資金の純減額20百万円があったものの投資有価証券の売却による収入1億16百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動の結果減少した資金は、7億6百万円となりました。これは主に短期及び長期借入金の借入と返済による純減額6億99百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

内閣府と財務省が平成20年12月に発表した法人企業景気予測調査によれば、平成20年10-12月期における大企業の景気判断指数は調査開始以来の最低値を更新しており、今後のわが国経済及び経営環境は、さらなる厳しい状況が予想されています。

このような環境下、当社グループでは、ストックビジネス（賃貸管理事業及び介護事業）における事業展開の加速による収益基盤の強化に注力することに加え、建設事業及び不動産販売事業におけるローコストオペレーションの徹底、グループ会社間における連携強化による相乗効果の追求等に注力する計画です。

以上により、平成21年8月期連結業績は、売上高268億円、営業利益7億5千万円、経常利益6億5千万円、当期純利益7千万円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

重要な子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により、算定しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間の税金等調整前四半期純損失が、183百万円増加しております

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,412,688	5,713,585
受取手形・完成工事未収入金等	1,613,026	1,448,844
販売用不動産	5,878,871	6,410,841
未成工事支出金	241,203	103,966
不動産事業支出金	120,087	21,587
その他のたな卸資産	33,604	34,601
繰延税金資産	156,116	101,130
その他	503,877	787,275
貸倒引当金	△1,772	△1,487
流動資産合計	12,957,702	14,620,344
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,310,112	1,135,086
土地	1,960,529	1,732,601
その他(純額)	68,941	48,103
有形固定資産計	3,339,583	2,915,791
無形固定資産		
のれん	1,020,753	1,078,799
その他	61,033	45,508
無形固定資産計	1,081,786	1,124,307
投資その他の資産		
投資有価証券	713,892	1,087,485
長期貸付金	150,716	151,474
繰延税金資産	20,576	3,030
その他	1,404,194	1,381,646
貸倒引当金	△7,513	△4,486
投資その他の資産計	2,281,866	2,619,149
固定資産合計	6,703,237	6,659,249
資産合計	19,660,939	21,279,593

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	515,563	597,966
短期借入金	5,973,968	6,857,267
1年内返済予定の長期借入金	2,260,681	2,355,937
1年内償還予定の社債	250,000	260,000
未成工事受入金	127,090	76,080
完成工事補償引当金	1,319	1,494
その他	2,529,309	3,031,597
流動負債合計	11,657,932	13,180,342
固定負債		
社債	780,000	650,000
長期借入金	1,902,997	1,624,216
受入敷金保証金	1,950,866	1,953,178
退職給付引当金	38,590	35,982
繰延税金負債	98,346	95,936
その他	157,512	179,445
固定負債合計	4,928,313	4,538,759
負債合計	16,586,245	17,719,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	965,185	965,185
資本剰余金	1,175,236	1,175,236
利益剰余金	1,322,153	1,806,118
自己株式	△438,250	△438,250
株主資本合計	3,024,324	3,508,289
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△387,589	△367,239
評価・換算差額等合計	△387,589	△367,239
少数株主持分	437,959	419,441
純資産合計	3,074,693	3,560,492
負債純資産合計	19,660,939	21,279,593

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
売上高	6,150,503
売上原価	4,792,878
売上総利益	1,357,625
販売費及び一般管理費	1,230,313
営業利益	127,311
営業外収益	
受取利息	2,201
受取配当金	399
受取手数料	943
負ののれん償却額	15,241
その他	26,554
営業外収益合計	45,340
営業外費用	
支払利息	57,951
その他	18,183
営業外費用合計	76,134
経常利益	96,517
特別利益	
固定資産売却益	3,500
投資有価証券売却益	13,591
その他	5,804
特別利益合計	22,895
特別損失	
販売用不動産評価損	183,831
投資有価証券評価損	239,146
その他	1,122
特別損失合計	424,100
税金等調整前四半期純損失(△)	△304,687
法人税、住民税及び事業税	71,223
法人税等調整額	△58,866
法人税等合計	12,357
少数株主利益	18,517
四半期純損失(△)	△335,561

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年9月1日
 至 平成20年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△304,687
減価償却費	24,746
販売用不動産評価損	183,831
のれん償却額	58,545
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,027
投資有価証券評価損益 (△は益)	239,146
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△13,591
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,311
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△175
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,607
受取利息及び受取配当金	△2,601
支払利息	57,951
売上債権の増減額 (△は増加)	△164,182
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△297,112
仕入債務の増減額 (△は減少)	△82,403
その他	△121,437
小計	△419,077
利息及び配当金の受取額	4,728
利息の支払額	△58,662
法人税等の支払額	△195,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	△668,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△71,223
定期預金の払戻による収入	2,400
有形固定資産の取得による支出	△14,626
有形固定資産の売却による収入	3,575
無形固定資産の取得による支出	△1,000
投資有価証券の売却による収入	116,431
敷金の回収による収入	34,358
敷金の差入による支出	△55,264
その他	△9,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,801

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年9月1日
至 平成20年11月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,618,000
短期借入金の返済による支出	△2,501,299
長期借入れによる収入	560,000
長期借入金の返済による支出	△376,474
社債の発行による収入	130,000
社債の償還による支出	△10,000
配当金の支払額	△123,508
その他	△3,015
財務活動によるキャッシュ・フロー	△706,297
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,369,721
現金及び現金同等物の期首残高	3,542,387
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,172,665

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

	建設事業 (千円)	不動産販売 事業 (千円)	賃貸管理 事業 (千円)	介護事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対 する売上高	258,489	637,831	2,861,529	2,392,653	6,150,503	—	6,150,503
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	138,246	168,649	15,480	—	322,375	(322,375)	—
計	396,735	806,480	2,877,010	2,392,653	6,472,879	(322,375)	6,150,503
営業利益	24,862	△11,333	139,374	102,016	254,920	(127,608)	127,311

(注) 1 事業区分の方法

事業の種類及び性質等を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 建設事業 マンション・アパート・戸建住宅及び改修工事等の建築請負・設計・施工
 (2) 不動産販売事業 土地、戸建住宅、アパート・マンション及び商業ビル等の販売
 (3) 賃貸管理事業 不動産の賃貸、管理及び仲介
 (4) 介護事業 介護施設の運営

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	6,351,774
II 売上原価	5,033,814
売上総利益	1,317,959
III 販売費及び一般管理費	1,002,746
営業利益	315,213
IV 営業外収益	36,183
1 受取利息	2,705
2 受取配当金	301
3 受取手数料	2,387
4 負ののれん償却額	22,256
5 その他	8,532
V 営業外費用	77,807
1 支払利息	65,730
2 投資事業組合等投資損失	8,959
3 その他	3,116
経常利益	273,589
VI 特別利益	256
1 工事補償引当金戻入益	256
VII 特別損失	3,009
1 固定資産除売却損	509
2 和解金損失	2,500
税金等調整前四半期純利益	270,835
税金費用	94,568
少数株主利益	9,236
四半期純利益	167,031

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	270,835
2 減価償却費	18,357
3 のれん償却額	2,489
4 固定資産除売却損	509
5 貸倒引当金の増加額	57
6 賞与引当金の増加額	151,171
7 完成工事補償引当金の減少額	△1,125
8 退職給付引当金の増加額	1,190
9 受取利息及び受取配当金	△3,006
10 支払利息	65,730
11 売上債権の増加額	△68,506
12 たな卸資産の減少額	533,236
13 仕入債務の減少額	△22,426
14 未成工事受入金の減少額	△67,144
15 和解金損失	2,500
16 その他	49,136
小計	933,007
17 利息及び配当金の受取額	4,837
18 利息の支払額	△68,469
19 和解金の支払額	△2,500
20 過年度法人税等の還付金額	24,167
21 法人税等の支払額	△726,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,023
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金・積金の預入による支出	△2,115
2 有形固定資産の取得による支出	△1,376
3 無形固定資産の取得による支出	△350
4 投資有価証券の売却による収入	1,283
5 敷金保証金の戻りによる収入	6,938
6 敷金保証金の差入による支出	△22,885
7 その他	28,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,310

	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入による収入	2,948,000
2 短期借入金の返済による支出	△3,564,362
3 長期借入による収入	497,000
4 長期借入金の返済による支出	△287,007
5 社債の償還による支出	△560,000
6 自己株式の取得による支出	△81,274
7 配当金の支払額	△130,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,178,081
Ⅳ 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△1,002,747
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	4,441,836
Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高	3,439,088

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年8月期第1四半期）

	建設事業 (千円)	不動産販売 事業 (千円)	賃貸管理 事業 (千円)	介護事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	635,838	2,332,106	1,317,747	2,066,082	6,351,774	—	6,351,774
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	62,964	—	59,963	—	122,927	(122,927)	—
計	698,803	2,332,106	1,377,710	2,066,082	6,474,702	(122,927)	6,351,774
営業費用	692,438	2,070,414	1,222,115	2,039,618	6,024,586	11,974	6,036,560
営業利益	6,364	261,691	155,594	26,463	450,115	(134,901)	315,213

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年8月期第1四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年8月期第1四半期）

当第1四半期連結会計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。